

MORISAWA PASSPORTで試すことにより、文字の造形感覚を養い 文字の形が持つ本来の美しさを知る。

葛西薫、大貫卓也、佐藤可士和といった著名なアートディレクターを輩出している、多摩美術大学グラフィックデザイン学科。八王子キャンパスの同学科にあるコンピュータールームではMORISAWA PASSPORTが導入されている他、学生は学内でStudent Packを購入することも可能だ。同学科においてタイポグラフィを教える山本政幸准教授に、教育者として、そしてタイポグラフィ研究者として、学生が多様な書体に触れることの意義について伺った。

文字を作る／使うという2つの柱で タイポグラフィを学ぶ

東京都八王子市の丘に立つ、多摩美術大学八王子キャンパス。同大学のグラフィックデザイン学科には、表現コース、広告コース、伝達コースという3つのコースが存在するが、いずれのコースに進むとしても、1～2年次においてはタイポグラフィの基礎について学ぶ機会が用意されている。

「基礎実習において、文字を作るということ、そして文字を使うということ、この2本柱でタイポグラフィを学びます」と話すのは、多摩美術大学グラフィックデザイン学科准教授、山本政幸先生。文字を学ぶ上でもっとも基本になるのは、今ある文字を知ること。そのために「まずはレタリングから始めます。気に入った文字を、なるべく大きなサイズでトレースするのです」と話しながら、実際に授業で使用した物を見せてくださった。学生たちが自分で選んだ「気になる」文字が、トレーシングペーパーにレタリングされている。この作業を通じて、文字のかたちに対する理解を深めていくというわけだ。その上で学生たちに文字を作らせてみると「もともとグラフィックの上手な学生が多いですから、表現としてもとても面白い文字が次々と生まれてきます」と山本先生は話す。

このようにして「文字を作る」ことを学びつつ、ときには手作業で、ときにはMacを使って「自分で見出しを組んでみる」といった実習を行いながら、文字の使い方も身につけていく。実習には小山壽久氏、園原稔雄氏、竹下直幸氏ら第一線で活躍するデザイナー陣が参加し、4人体制できめ細かな指導にあたる。

学生たちは、タイポグラフィの授業に対してどのような反応を示すのだろうか。山本先生は次のように話す。

「学生たちはレタリングというものがあることは知っていますが、では実際にどのような書体があるのか、そして文字を使う際にどのようにすれば良いのか、どのようなルールがあるのかといったことを知りません。それを身につけたいという欲求が、学生の中にはあります。」

文字や組版をスクラップしながら 多様な書体を知る

タイポグラフィの基礎実習の中では、文字のスクラップを作る場面が何度か出てくる。

「気に入った文字をトレースさせると話しましたが、そのために文字のスクラップを作ります。文字の好みというものは狭くなりがちで、いつも同じ物を使う傾向にあります。しかしスクラップを作っていく中で、いろいろな種類の文字があることを知り、視野を広げることが重要です。文字の使い方を学ぶ際にも、組版のスクラップを作る作業があります。きれいだなと思った組版をスクラップして、どのような書体が、どのような体裁で使われているのかを調べます。」

このような作業を通じて、単に書体を知るというだけでなく「どうしてこれが美しいのか」「なぜこの文字が好きなのか」といったことを突き詰めて考え、その理由を発見することもできる。

「良い物をいくつか知っていれば構わないという人もいるかもしれませんが、しかし、社会に出てデザインの仕事に就いたとき、どういう仕事に出会うかわかりませんし、その場面に応じて文字が使いこなせるように、たくさんのストックを作っておくべきだと思います。」

実際に組んで試すことができるのが 最大のメリット

「パソコンにインストールされている書体が限られていると、その環境の中に限られてしまい、いつも同じものばかりを使いがちで、それがその人のスタンダードになってしまう可能性があります。しかし実際には、いろいろな書体を目的に応じて使い分けができるデザイナーが必要です。」

このように話す山本先生。八王子キャンパスの同学科にあるコンピュータールームではMORISAWA PASSPORTが導入されている。多くの文字、書体に触れておくべき学生時代にMORISAWA PASSPORTが利用できることのメリットを伺った。

「MORISAWA PASSPORTの良いところは、アプリケーションのフォントメニューにたくさんの書体が表



多摩美術大学
グラフィックデザイン学科
准教授 山本 政幸氏



歴史的・実践的考察をふまえた演習を通して書体に関する基礎知識を修得するとともに、オリジナルの新書体を設計するための構想力を身につけることを目標とする。



ページレイアウトとデザインを学び、組みルールや記号・約物などを理解していく。



トレーシングペーパーに文字をレタリング。文字のかたちに対する理解を深める。



学生のオリジナルフォントの作品。

示されることで、いろいろなものを試してみようと思えることです。ファミリーも含めて、実際に組んで試してみれば良いのです。先輩デザイナーや先生方が実際に使っている書体も、自分で試してみることができるのは他に替えがたいメリットだと思います。」

さらには、学生は学内でStudent Packを購入することもできる。山本先生によれば、実際に多くの学生が自分でMacを購入し、大学のコンピュータールームでも自宅でも、課題等の制作に励んでいるという。自宅のMacでStudent Packを使用すれば、自宅で作ったデータを大学で開く際にも何の不自由も無い。「MORISAWA PASSPORTを導入する以前は書体の数も限られていたわけで、学生は相当な不便をし

ていたと思いますよ」と、山本先生は話す。

タイポグラフィの研究者である山本先生は「文字には時代の流行が純粋に現れます。例えばサンセリフは、時代によって全く異なります。そして今でも“次のサンセリフはもう無いのでは?”と思うと、やはりまだ新しいものが出てくる。それだけ、文字の世界は尽きないというわけです」と話す。その尽きることのない文字の世界の中で、基礎となる教養を身につけ、そして文字を使うために必要な引き出しを持つために、多摩美術大学グラフィックデザイン学科の学生たちは今日もタイポグラフィの授業や課題制作に取り組んでいる。

多摩美術大学
グラフィックデザイン学科

所在地
東京都八王子市鎌倉2-1723

学科内容
深い人間性に根ざした、豊かな感性力・創造力・発見力・計画力などの人間力を基礎体力とし、新鮮で先鋭的な描写力・構成力・情報伝達技術力などの造形力を持ち、あわせて、デジタル機器による、巧みな情報処理技術を保有する、創造性が高く、問題解決能力が強い、情報伝達デザイナーを育成

<http://www.tamabi.ac.jp/dept/gdl>

●使用書体/見出し:リュウミン+秀英3号かな リード・本文:リュウミン+アンチック 小見出し:新ゴ+ClearTone SG



MORISAWA PASSPORT

<http://www.morisawa.co.jp/font/passport/>



MORISAWA FONT Student Pack

<http://www.morisawa.co.jp/font/products/list/studentpack.html>

お問合せ先
モリサワバスポートセンター
フリーダイヤル: 0120-08-2253
TEL: 06-6647-2253
URL: www.morisawa.co.jp/font/passport/

NO COPY
無断コピーは違法です!

モリサワ製品の不正コピーなど、違法行為にお気づきの方は
(社)コンピュータソフトウェア著作権協会(Tel.03-5976-5178)までご連絡ください。

※本仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※本カタログに記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

モリサワ

株式会社モリサワ

本社	〒556-0012	大阪市浪速区敷津東2-6-25	Tel.06-6649-2151
東京本社	〒162-0822	東京都新宿区下宮比町2-27	Tel.03-3267-1231
仙台支店	〒984-0051	仙台市若林区新寺1-3-8	Tel.022-296-0421
名古屋支店	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1-5-10	Tel.052-201-2341
札幌営業所	〒001-0010	札幌市北区北十条西2-6サウスシティ2F	Tel.011-700-0112
広島営業所	〒730-0805	広島市中区十日市町1-6-27	広島印刷会館1F Tel.082-296-1114
福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1-3-25	Tel.092-411-5875
鹿児島営業所	〒890-0045	鹿児島市武1-11-7	秋丸ビル Tel.099-252-2255
岡山出張所	〒701-1214	岡山市北区幸川市場386	Tel.086-284-9766